

# 音パット 施工要領書



<http://www.sonorize.jp/>

**SONORIZE**

ソノーライズ株式会社

〒302-0033 茨城県取手市米ノ井375-16

TEL:0297-85-3331 FAX:0297-85-3332

## ■ 施工に必要なもの ■

### 防音下地材「音パット」



躯体と仕上げ面の縁を切り、空気層を作り振動エネルギーを約80%カットできる防音下地材。床・壁・天井の下地材としてお使いいただけます。

### 遮音材 「防音マットZSなど」



床防音用の遮音シートやマット。音パット工法と組み合わせての使用を推奨しています。※床には5mm以上、壁・天井には3mm以上を使用してください。

### コンパネビス・軽天ビス



下地が木質の場合は、「音パット」をコンパネビスにて固定してください。「音パット」に石膏ボードを固定する際は長さ28mm以下の軽天ビスを使用してください。

### 「グラスウールやロックウールなど」の吸音材



音パット間に敷き詰める資材になります。※音パット工法は「音パット」と吸音材で荷重を支える構造になります

### 切断工具



音パットの長さを調整するには、「高速カッター」「ディスクグラインダー」「金切りバサミ」等でカットできます。※音パットの材質は軽量鋼0.8mm厚です。

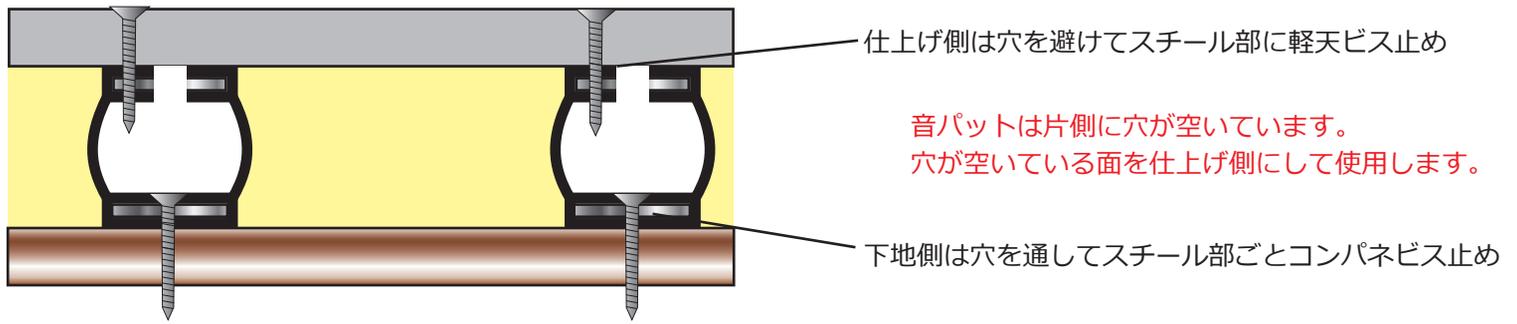
### 接着剤（コンクリート下地時のみ）



下地がコンクリートの場合は、コニシ(株)の「ボンドK120」または同等品にて「音パット」を接着してください。

## ■音パットの施工について①■

### 音パットの施工イメージ図



### 音パットの固定方法

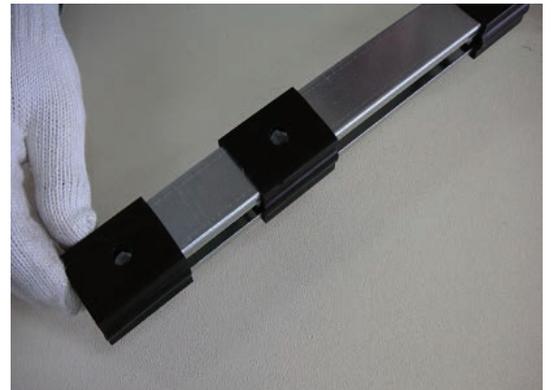
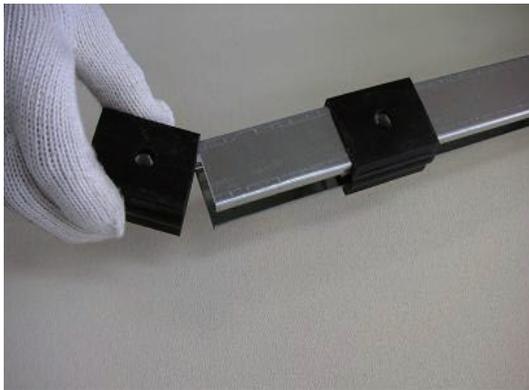


下地が木質の場合、音パットゴム部の穴からコンパネビスまたは同等品をインパクトドライバーにて固定してください。



下地がコンクリートの場合、音パットゴム部・軽量材の裏側に接着剤を塗り固定してください。

### 音パットの切断方法



音パット切断時は、**合わせ位置の印字と反対側**からカット後、ゴムを外し、切った端部にゴム部を差し込みます。

### 音パットを並べる



○ 音パットは離す

× 音パットはくっつけない

「合わせ位置」のスタンプが押しあてられている端部と、無地の端部を合わせるように並べてください。  
音パット同士を密着させると、擦れて音鳴りの原因となるので3mm離してください。

## ■音パットの施工について②■

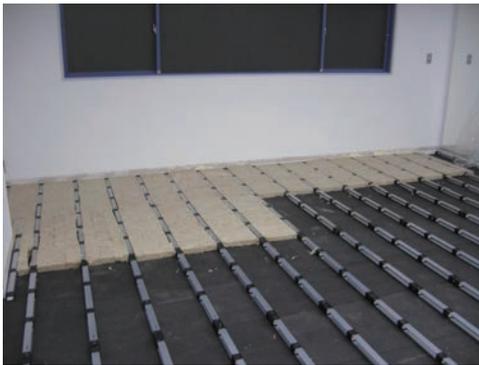
### 床



床：音パット303mmピッチで施工

壁際に常設荷重がある場合は、壁際に木根太を入れ、内側に303mmピッチで音パットを施工する

※音パット、木根太は壁から2~3mm離してください。



床は荷重が掛かるため、音パット間にグラスウール32k40mm厚を押し込み充填



壁と合板を2~3mm離し、12mm以上の合板を捨て貼りしてください。  
※壁と床の縁が切れていないと、振動が伝わり遮音性能が低下します。  
捨て貼り同士は、必ず2~3mm離して固定してください。  
※床鳴りの原因となります。

### 壁



壁：音パット455mmピッチで施工



音パット間にグラスウール32k40mm厚を充填



石膏ボードを2重貼りしてください。必ず下貼りの石膏ボードとジョイント位置をずらし固定してください。

### 天井



天井：音パット303mmピッチで施工



音パット間にグラスウール32k40mm厚を充填



石膏ボードを2重貼りしてください。必ず下貼りの石膏ボードとジョイント位置をずらし固定してください。

## ■音パットの施工について③■

### 合板・ボード、ジョイント部の対応



合板・石膏ボードは、基本的にゴム部にビス止めしますが、ジョイント部がスチール部になる場合、付属のゴムパッキンをカットし写真のように貼付け施工してください。

### レベル調整



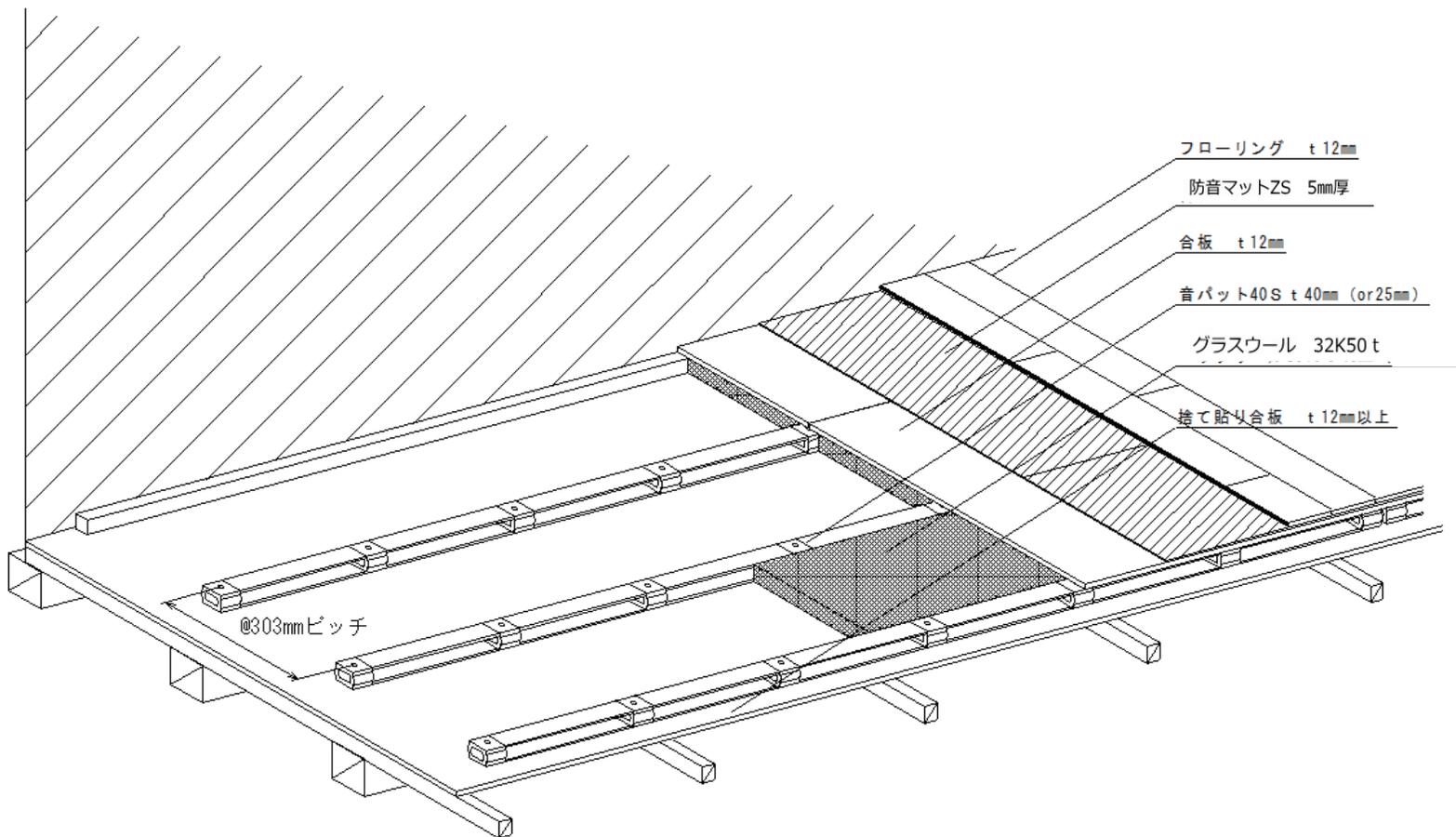
下地のレベル調整は、音パットの下にカットベニアなどを敷き込み調整してください。

## 音パット施工時の注意点

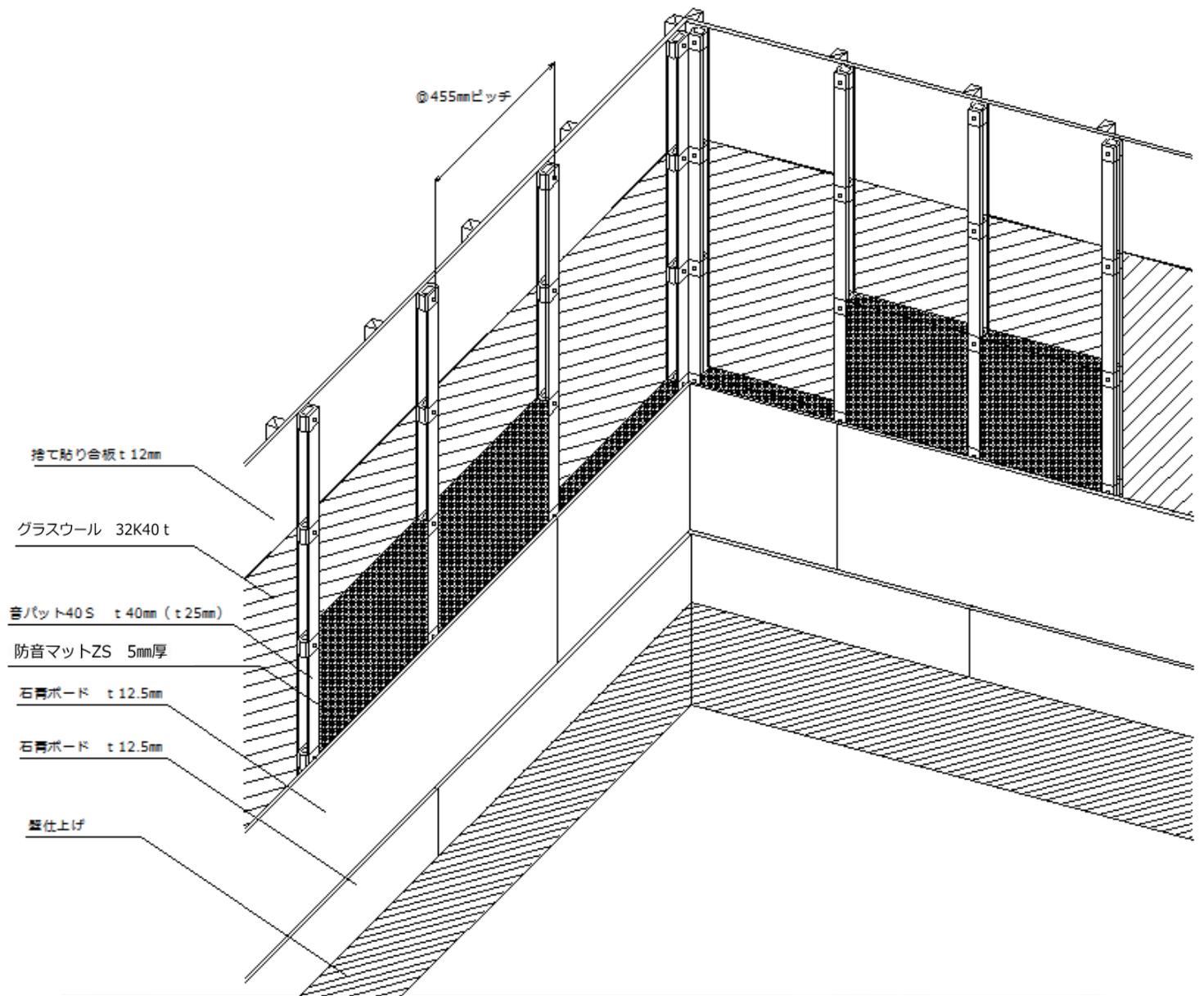
- 音パット・捨て貼り・仕上げフローアは確実に壁より離して施工してください。
- 捨て貼り合板と合板の接合部は確実に離して固定してください。踏み鳴りの原因となります。
- 音パットはフレームが薄い金属製です、必ず軍手をご使用ください。手を切る可能性があり素手では危険です。
- 音パットのフレーム部に乘ったり、重量物を載せたりしないでください。
- 捨て貼りを施工後に重量物を落としたり、投げたり、一箇所に集中して仮置きをしないでください。音パット支持フレームが破損する恐れがあります。
- 木製巾木をご使用の際は、クッション付き巾木をお選びください。

# 音パット工法 構造図

## 床



壁



# 天井

